

2024年

風光札

人権のたより 通算第65号3月18日発行

三重県立津東高等学校

「3月12日」

- ① 旧優生保護法下で、不妊手術を強いられたのは違憲だとして聴覚障がいのある夫妻が実名で国に損害賠償を求めた訴訟の判決で、名古屋高裁は、12日、旧法は違憲だと判断し1650万円の賠償を命じた。

望んでも子供をつくれなくなり、半世紀近く苦しんできた。「今の若い人たちに自分たちのような差別を受けさせたくない。幸せな社会になってほしい。」と願った。

② 13歳の時から3年間にわたり、実父から性被害に遭い続けた女性が12日、実名で記者会見をした。

「実名を出すことに葛藤はあったが、私は何も悪いことをしていない。隠れることはない」「被害に苦しむ人が声を上げる力になりたい」「未来は絶望だけじゃない」「周りに困っている人がいないか気を配れる社会であってほしい」と願いを込めた。

(3/14付け、中日新聞から抜粋)

今までも、理不尽な差別を受けてきた人たちが声を上げ、改善されてきましたが、まだまだ多くの偏見や差別が残っています。もう一度書きます。確かな知識を身につけ、偏見や常識にとらわれずにおかしいと気づいてください。気づいたら次に協働して、おかしいことを正していくには、どうしたらよいか行動をおこす勇気を持ってください。

今月の花言葉

「向上心」「意外」「驚き」

トクサ科、「ツクシ」の花言葉です。

スギナの孢子茎のことを指します。スギナにくっついて出てくることから「付く子」、袴の部分で継いでいるように見えることから、「継ぐ子」となった説が有力です。また、「土筆」と書きますがツクシが土に刺した「筆」のような姿をしていることにちなむと言われています。



戦争、自然災害、疫病、経済情勢、AI社会等見通しの立ちにくい未来ですが、津東高校で学んでいる「自分らしくプロジェクト」を軸に、「好き」を突き詰め、「向上心」をもってまっすぐに成長してください。『君たちはどう生きるか』 楽しみにしています。